



「A lie z, A lie z!」(アレ、アレ!)。グラウンドに声が響く。フランス語で「行け」という意味だ。クラスリレーも終

JICA
だより



ベナン
(2023年1月～25年1月)
加美ひな代さん(27)
廿日市市

盤、アンカーの一人が首位で走っているチームのアンカーを肘で押しつけた。そして妨害したチームが1位でゴール。1位のチームの子どもたちが喜びに沸く中で、クラスの担任が審判チームに対して抗議をした。

暴力なくす未来へ一歩

「暴力はだめだよ!」
ベナンでは体罰がまだ根深く残っている。法律で体

罰は禁止されているが、家庭でもいまだに体罰は行われている。学校では平均し



運動会のリレーの順位発表に沸く参加者たち

て約40人、多いと約100人の児童を1人の教員が受け持ったため、本意ではあるが、子どもを統率するために、むちを常備している教員も少なくない。

自分が指導した体育の授業でも、ちょっとしたことがきっかけで子ども同士が殴り合う場面がよく見られた。日頃から暴力について注意してきたが、自分にとっての最後の1学期は「暴力を減らそう」がテーマで

体育の授業に取り組み、その集大成としての活動が今回の運動会であった。だから、その運動会での暴力に対する先生の抗議は

自分の中で特別大きな意味があった。小さな一歩ではあるが、ゼロだったのが1になった瞬間だった。暴力を許さないということ、自分のことはもちろん、周りの人も大切に扱うということだと思ふ。こういったお互いを思いやる小さな積み重ねの先に平和な世界があるのではないだろうか。

体罰に限らず、暴力はベナンだけでなくどこにでもあり、私の生まれ育った広島も例外ではないだろう。私の関わったベナンの子どもたちや先生たちが一歩を踏み出したように、私もあらゆる種類の暴力にNonを言い続けていきたい。これもやがて平和につながることだと思ふから。